

受理年月日	平成25年12月16日	付託年月日	平成25年12月17日	所管委員会	第2委員会
番 号	25年 請 願 第 23 号				
件 名	少人数学級の全面実施について				
請 願 者	東区千早六丁目2-2042 ふくおか教育を考える会 伊藤 宣子 外-17,927人 18,567人(26.2.24)				
紹介議員	中山、綿貫、星野、宮本、熊谷、高田、池田、落石、荒木				
分割付託	なし				
要 旨	<p>平成21年6月に策定された、新しいふくおかの教育計画では、義務教育9年間で3段階に分け、小学1年から4年までを基本的な生活習慣の定着期と位置づけ、独自予算をつけて少人数学級にしています。また、中1ギャップ対策として希望する中学の1年を35人学級にしています。</p> <p>文部科学省は概算要求に、今後7年間で36人以上学級の解消、チームティーチング・習熟度別指導を推進するための予算を盛り込みました。</p> <p>学校は、子どもと教師との豊かな交流を通して人格を形成していく大切な場所です。しかしながら思春期の多くの子どもたちが自己肯定感を持てずにおり、学力競争に拍車がかかる中、先生も子どもも余裕をなくしてきています。私たちが聞き取った子どもを取り巻く状況からは、小学5年で学級崩壊がふえ、中学校では不登校、いじめが深刻化している様子が見えがえします。また、子どもの貧困と連鎖が大きな社会的問題になり、学力の二極化も指摘されています。問題の解決には、担任が家庭の事情や子どもの個性を理解し、信頼関係を築いて、一人一人に丁寧にかかわることが重要になります。そして、社会全体で子どもを見守っていく必要があります。</p> <p>憲法と子どもの権利条約には、全ての子どもの教育を受ける権利を保障するとあります。今、悩み苦しんでいる思春期の子どもたちのために、以下の事項を請願します。</p> <p>1. 国の計画に先駆けて早急に、小中学校全学年で35人以下学級を実施すること。</p>				
審 査	平成 年 月 日	結 果	委員会		
年 月 日	平成 年 月 日		平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		本会議 平成 年 月 日		

平成 25 年 12 月 16 日

福岡市議会議長

森 英 鷹 様

請願者

〒813-0044

福岡市東区千早 6-2-2042

ふくおか教育を考える会

伊藤 宣子

外 17927 人

すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるために
福岡市で少人数学級の全面実施を求める請願

請願趣旨

平成21年6月に策定された「新しいふくおかの教育計画」では、義務教育9年間で3段階に分け、小学1年から4年までを基本的な生活習慣の定着期と位置づけ、独自予算をつけて少人数学級にしています。また、中1ギャップ対策として希望する中学の1年を35人学級にしています。

文部科学省は概算要求に、今後7年間で36人以上学級の解消、Team Teaching・習熟度別指導を推進するための予算を盛り込みました。

学校は、子どもと教師との豊かな交流を通して人格を形成していく大切な場所です。しかしながら思春期の多くの子どもたちが自己肯定感を持っており、学力競争に拍車がかかる中、先生も子どもも余裕をなくしてきています。私たちが聞き取った子どもをとりまく状況からは、小学5年で「学級崩壊」が増え、中学校では「不登校」「いじめ」が深刻化している様子がうかがえます。また、「子どもの貧困と連鎖」が大きな社会的問題になり、「学力の2極化」も指摘されています。問題の解決には、担任が家庭の事情や子どもの個性を理解し、信頼関係を築いて、一人ひとりに丁寧にかかわることが重要になります。そして、社会全体で子どもを見守っていく必要があります。

憲法と子どもの権利条約には「すべての子どもの教育を受ける権利を保障する」とあります。今、悩み苦しんでいる思春期の子どもたちのために、国の施策が実行されるまで、福岡市独自の予算で小・中学校全学年を35人以下学級にしてください。



ふくおか東部教育を考える会・ふくおか西部教育を考える会
ふくおか南部教育を考える会・ふくおか中部教育を考える会

小学校・中学校・高校の少人数学級全面実施を目指して

国の計画に先駆けて早急に、小・中学校全学年で35人以下学級を実施してください。

*署名は目的以外に使用しません

氏名	住所

- ★ 賛同してくださる方であれば、地域、年齢、国籍を問わず署名できます。
- ★ 住所が同じであれば「同上」でもかまいません。
- ★ 本人の同意があれば代筆もできます。

連絡先：ふくおか教育を考える会協議会 TEL/FAX 092-406-4125
福岡市中央区白金2-9-13 ライベストコート白金103